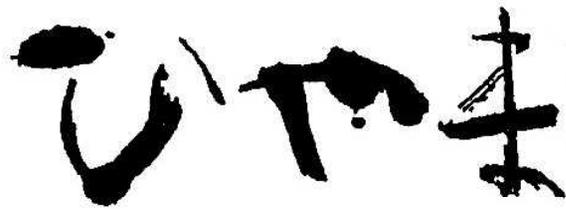


第5号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX (52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp



ちがいを越え

全道集會に
5500人

戦争への道にNO!

六月二〇日、札幌市大通公園西八丁目広場を会場に「戦争させない北海道大集會」が行われました。同実行委員会が主催。六月二〇日、札幌市大通公園西八丁目広場を会場に「戦争させない北海道大集會」が行われました。同実行委員会が主催。様々な団体や個人が立場や信条の違いを越え、全道各地から五五〇〇人が「戦争させない」の一点で集まりました。労働組合もナショナルセンターの違いを越えて結集しました。

岩本一郎氏（北星大学教授）、麻田信二氏（北海道生活協同組合連合会会長理事）、山口二郎氏（法政大学教授）、雨宮処凛氏（作家）、結城洋一郎氏（小樽商大名誉教授）ら「呼びかけ人」が発言、戦争する国づくりを企てる安倍政権を批判し「今ともに声を挙げよう」と訴えました。

また、東京新聞編集委員の半田滋氏がゲストとして発言しました。中東で活動した自衛艦への乗船取材を振り返りながら苛酷な実態を紹介するとともに、「安保法案は際限なく危険を拡大する戦争法そのもの」と厳しく批判しました。

集會では参加者が一斉に「戦争させない！」とコール（写真）、戦争法制反対の声を街中に響かせました。

集會後、中島公園までデモ行進をし、道行く市民に「命を守ろう」「子どもを守ろう」などとアピールしました。

なお、「呼びかけ人」には前述の他、倉本聰氏（脚本家）や金子勝氏（経済学者）、鎌田慧氏（ルポライター）なども名を連ねます。歌人の故三浦光世氏も呼びかけ人の一人でした。

「教え子を再び戦場に送らない」教職員集會220

「戦争させない北海道集會」の後、「6・20『教え子を再び戦場に送らない』北海道教職員集會」が開催されました。

集會の北海道教職員会館に二二〇人が参加しました。

同集會も高教組や北教組など組織の違いを越えて開催されたものです。

憲法学者の岩本一郎氏（北星大学教授）が講演、「法案が平時において戦争への道を開く仕組みになっている」とその危険性を説きました。

大規模な自衛隊基地を抱える小学校と高校の教員が現場報告、戦争法制化の動きのなかで、複雑に揺れる

子どもたちの姿や思いを紹介しました。また、中学生の子を持つ保護者が発言、我が子に重ねた不安を語りました。

現場からの報告は、「子ども教育に寄せて、学校と教職員が、現下の事態にどう向き合っていくか、切迫した課題に直面していることを示唆するものとなりました。

最後に、「子どもたちに平和な未来を引き継ぐため、全道すべての教職員、広範な市民の力を結集してたたかおう」と呼びかける集會アピールが読み上げられ、満場の拍手で採択されました。



南ひやま9条の会 平和を語るつどい 安全保障関連法案を考える学習会

武力はけつして非暴力になる



清末愛砂さん(室蘭工業大・憲法学)

六月二十八日、江差町文化会館で「安全保障関連法案を考える学習会」が開催されました。南ひやま9条の会が主催、室蘭工業大学准教授の清末愛砂氏が講演しました。

主催者あいさつに立った同会の北村克夫代表幹事は、法案反対の世論と運動の高まりを紹介しながら、「子どもや孫を絶対に戦場に送らない決意を共にしよう」と訴えました。

講師の清末愛砂氏は憲法学者ですが、パレスチナでの非暴力運動に参加するな

ど広く社会活動を展開されてきた人でもあります。

氏はまず集団的自衛権について、国連憲章の規定を紐解きながら、「集団的自衛権とは『他衛』の論理」であることを説明しました。また、集団的自衛権が大国による小国に対する侵略手段として行使されている実態を紹介し、それが植民地主義的な発想に基づいていると告発しました。

その上で、「人の生と死に直結することから武力攻撃を受ける側にいる人々の状況を考えることが求められる」と強調しました。さらに、法案が憲法の条文に拠って集団的自衛権を正当化していることに触れ、その実体は憲法の原理原則を踏みにじる仕組みになっていることを説明、法案が

明らかに違憲であると指摘しました。

氏は、パレスチナで非暴力トレーナーとして活動した経験を語りながら、戦争と平和と非暴力の関わりを説きました。現場写真を提示、茶の間や寝室がすぐさま戦場になる現実を伝え、「武力はけつして人を幸せにはしない」と力説しました。

そして、占領下にあるパレスチナの非暴力抵抗運動を紹介しながら「暴力は人の生と対話を否定するが、非暴力は圧倒的抵抗力を生み出し対話への道を開く」と訴えました。

講演後の質疑応答では、自らの戦争体験を振り返りながら「絶対に戦争をしてはならない」と語る参加者がいました。経済と戦争の関わりについての質問があり、軍需産業の肥大化や経済的な徴兵制の環境づくりの企てが説かれました。違憲立

法審査権の機能についての質問に対し、具体的な事案が提起されれば違憲性を争うケースが多分に出てくる可能性が示されました。

法制化させない努力と共同のとりくみが迫って大事であることを確認し合い、講演会

は閉会しました。

「これからの若者や子どもたちのために真実を広げる場がもっと必要だと痛感しました」などの感想が寄せられました。



教員採用試験2次対策学習会

集団面接対策

回数	日にち	時間	内容	場所
第1回	7月17日(金)	18:00 ~ 20:30	・集団面接の基礎と心構え ・集団面接の実際(演習)	元和交遊館 乙部町字元和 103-5 *道の駅ルート 229 元和向かい
第2回	7月29日(水)	17:00 ~ 19:30	・集団面接の実際(演習) * 実際に模擬面接を行います。	檜山教職員会館 江差町字陣屋町 86-1 TEL 0139-52-0858
第3回	7月30日(木)			
第4回	7月31日(金)			

うらべよしお
講師 卜部喜雄氏 (北海道高等学校教職員センター附属教育研究所事務局長)
元道立高校校長。酪農学園大学や東京アカデミーなどで講師。2005年より現職。
教職志望者や管理職志望者への指導で定評があり、各地で講演や講師活動。

主催/檜山教職員組合

卜部先生による

教職員相談会

7/18(土) 10:00~12:00

檜山教職員会館 江差町字陣屋町 86-1
TEL 0139-52-0858 FAX 0139-52-1490

どなたでもご自由に参加できます。
どうぞお気軽にお越しください。